

科目名	公衆衛生学	担当教員	森満 ※印は実務経験のある教員を示す。			
-----	-------	------	------------------------	--	--	--

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
理学療法学専攻 作業療法学専攻	専門基礎科目	必修	4年次	後期	1単位	講義

科目概要	<p>疾病の発生要因を社会との関連から追及し、その予防対策をたてる公衆衛生学について理解することを目的とする。具体的には、公衆衛生学の定義、衛生行政、公衆衛生の主要指標である人口動態や生命表などの見方を理解し、喫煙や飲酒などの健康阻害要因、疫学研究の意義、保健対策や環境問題、労働衛生について理解する。また、各種の疾病の発生要因とその予防対策について理解することを目的とする。</p>
学習目標	<p>公衆衛生学の概要を説明できるようになるとともに、人口静態・人口動態、社会保障制度、医療制度、介護保険制度、社会福祉制度、疫学研究、健康維持増進方法、保健対策、労働衛生、環境衛生について理解し、説明できる。</p>

回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験 教員担当 項目
1	概要・衛生行政	公衆衛生学の概要と衛生行政について学ぶ。	公衆衛生学の概要と衛生行政について理解し、説明できる。	
2	人口静態・人口動態	日本の人口静態・人口動態・生命表について学ぶ。	日本の人口静態・人口動態・生命表について理解し、説明できる。	
3	社会保障・医療制度	日本の社会保障制度・医療制度について学ぶ。	日本の社会保障制度・医療制度について理解し、説明できる。	
4	介護・社会福祉制度	日本の介護保険制度・社会福祉制度について学ぶ。	日本の介護保険制度・社会福祉制度について理解し、説明できる。	
5	疫学研究	疫学研究と公衆衛生学との関係を学ぶ。	疫学研究と公衆衛生学との関係について理解し、説明できる。	
6	健康維持増進方法・保健対策	健康の維持増進方法に関するエビデンス、および、日本の保健対策を学ぶ。	健康の維持増進方法に関するエビデンス、および、日本の保健対策を理解し、説明できる。	
7	労働衛生	労働者における健康障害や疾病発生の要因、および、その対策について学ぶ。	労働者における健康障害や疾病発生の要因、および、その対策について理解し、説明できる。	
8	環境衛生	社会環境や自然環境がもたらす健康障害や疾病発生の要因、および、その対策について学ぶ。	社会環境や自然環境がもたらす健康障害や疾病発生の要因、および、その対策について理解し、説明できる。	

評価方法	国家試験形式の試験
教科図書	配付資料
参考図書	国民衛生の動向
学習の準備	新聞やテレビなどのマスメディアにおける保健、医療、福祉に関する報道に普段から関心を持つこと。
オフィスアワー	在室時はいつでも可能
担当教員欄に※印を附した教員の実務経験	